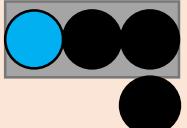
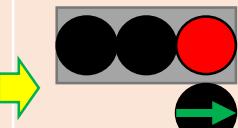
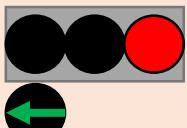
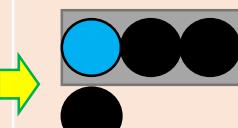
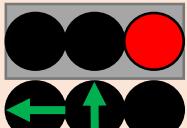
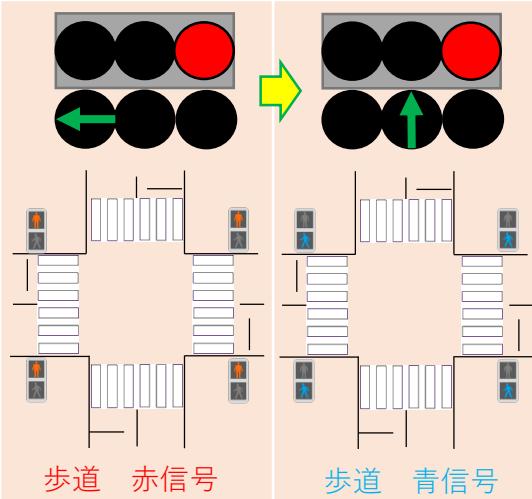
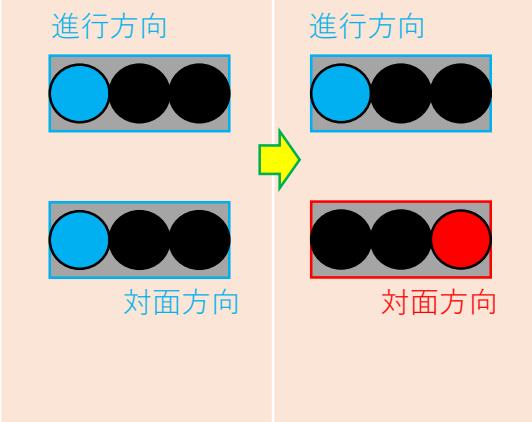
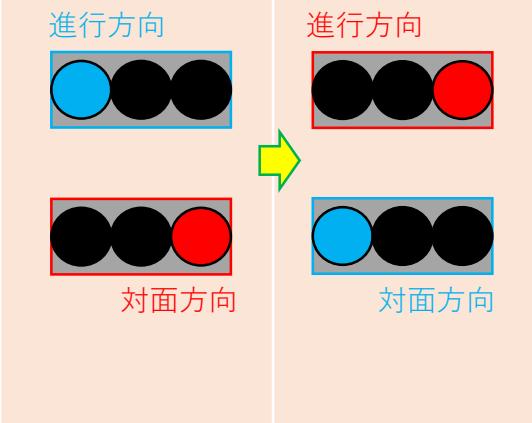


信号機の現示例

車両灯器と現示の関係について代表的なものをまとめました。
対面する信号をしっかりと確認して進行してください。

信号灯器の種類	役割	設置場所
 	基本的な信号機 青黄赤の三色の信号で車両と歩行者を整理します。 青のときは全方向進行可能です。	長良橋通り 神田町2交差点ほか
 	右折矢印信号付き 右折車両が多い交差点で、矢印で右折車両のみを通行させます。	県道1号 岐阜県庁東交差点ほか
 	左折矢印信号付き 左折車両が多い交差点で、先に左折車両のみを通行させます。	R21号 穂積中原交差点ほか
 	右折車両分離 矢印で直進・左折車両と右折車両を分けるので右折車両の事故防止が図れます。	R21号 薮田交差点ほか

信号灯器の種類	役割	設置場所
	右左折車両分離	横断歩道が青信号の時は車両が右左折して来ないため、歩行者の安全が図れます。
	時差式	一方の右折車両を含めた交通量が多い交差点で、対向車両の信号が先に赤信号になるので、右折車両の安全を図るとともに、交通量の多い方向の渋滞対策となります。
	3現示 (分離式)	右折車線がない交差点で、対面方向の車両を停止させ、一方向づつ車両を進行させることで、右折車両による渋滞対策が図れます。